



第2次さくら市総合計画

概要版

基本構想 (2016 - 2025)
基本計画 (2016 - 2020)



安心して暮らせ、地域・ひと・ものを結ぶ、魅力いっぱいのまち

栃木県さくら市

平成 28 年 3 月

策定にあたって

計画策定の趣旨・目的

第2次さくら市総合計画は、今後のまちづくりの方向性を示すため、市政運営の最上位計画としてとりまとめるものです。

【総合計画策定の目的】

- 未来を見据え中長期的な視野に立ち、計画的な行政経営を推進するためのまちづくりの指針とするため。
- 経営環境や市政方針を踏まえたPlan（計画）Do（実施）Check（評価）Action（改善）に基づくマネジメントの推進基点となる政策施策展開のPlan（計画）を設定するため。
- まちづくりのめざすべき姿及びその達成度について、『市民にわかりやすい計画』を設定するとともに、市民への説明責任を果たすために、総合計画の達成度を定期的に報告し、まちづくりの状況を市民と共有するため。

計画の構成と期間

基本構想（基本理念と方向性）

【計画期間：平成28年から10年間】

基本計画（施策分野ごとのめざす姿）

【計画期間：平成28年から5年間】

実施計画（具体的な取組：事務事業）

【計画期間：平成28年から5年間】

ただし1年毎に見直し

年 度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
	H27	H28	H19	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
基本構想	第2次基本構想（10年）										
手段 基本計画	基本計画（2016－2020）						基本計画（2021－2025）				
手段 実施計画	実施計画 ※						実施計画 ※				

※ 実施計画事業は、事業評価等を踏まえ、毎年見直し（追加、廃止、増額、減額等）

さくら市総合戦略との連動

さくら市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「さくら市総合戦略」という。）は、さくら市における人口減少と地域経済縮小の克服を図るため、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指した計画です。さくら市総合戦略と第2次さくら市総合計画は、計画が担う範囲の多くが重なっています。そのため、さくら市では、総合計画にさくら市総合戦略を包含した計画策定を行い、2つの計画を一体的に推進していくこととします。

計画策定にあたっての現状認識

計画策定にあたり、さくら市を取り巻く時代動向・潮流を下記のとおり整理しました。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ① 人口減少時代の到来と少子高齢化の進行 | ⑥ 市民との協働・共助社会づくり |
| ② グローバル化経済の進展と産業・雇用の動向 | ⑦ 環境問題の深刻化 |
| ③ 社会のつながりの変化 | ⑧ 情報通信技術の発展 |
| ④ 子どもを取り巻く社会環境の変化 | ⑨ 地方分権・主権による自治体経営の重要性 |
| ⑤ 安全・安心への意識の高まり | |

まちづくりの基本理念と将来都市像

まちづくりの基本理念、将来都市像は、第1次振興計画を継承し、以下のとおり定めます。

まちづくりの基本理念

持続性のある自立した行財政基盤を確立し、安心して暮らせるまちづくり

さくら市は、清らかな河川と緑豊かな田園や丘陵地が広がり、豊かな自然環境とともに古墳や城跡、神社仏閣等をはじめとして先祖から受け継がれてきた歴史や文化があり、喜連川温泉等の観光資源にも恵まれています。

これらの自然や歴史を守り、資源を未来に引き継いで行くために、常に問題意識を持ち、自分たちの責任で自らのまちをつくるという自立意識を、常に市民と行政が共有し、広い視野でまちづくりを進める必要があります。

本市においても人口減少社会を迎えることとなりますが、人口減少による影響を抑制し、人口減少社会へ対応していくためには、効果的効率的な行政経営により財政基盤を安定させつつ、産業の活性化や仕事の創出に力を注ぎ、定住・交流人口の増加につながる魅力あるまちづくりの推進が必要です。そして、市民の結婚や出産の希望を叶えられるよう、子育てや教育への支援を充実させるとともに、だれもが安心して地域で暮らせるような仕組みづくりに取り組むことで、将来にわたる持続性のあるまちづくりを進めていくことが重要と考えます。

そのため、さくら市は、まちづくりの基本理念を「持続性のある自立した行財政基盤を確立し、安心して暮らせるまちづくり」として、あらゆる施策に反映させていきます。

将来都市像

安心して暮らせ、地域・ひと・ものを結ぶ、魅力いっぱいのまち

少子高齢化や情報化、地球温暖化、グローバル化など暮らしの環境が大きく変わるなか、時代や環境にあわせた施策の拡充や見直しを常におこない、安心して暮らせるまちになるよう取り組みます。

氏家町と喜連川町の2町合併により、さくら市が誕生して10年が経過しました。これからも、さくら市としての一体感をさらに醸成させるため、地域同士の交流はもちろん、市外との人や経済の交流活発化により新たな魅力を創造し、地域資源・都市機能の総合力を向上させるべく、地域・ひと・ものを結びつきを強めるまちづくりをめざします。

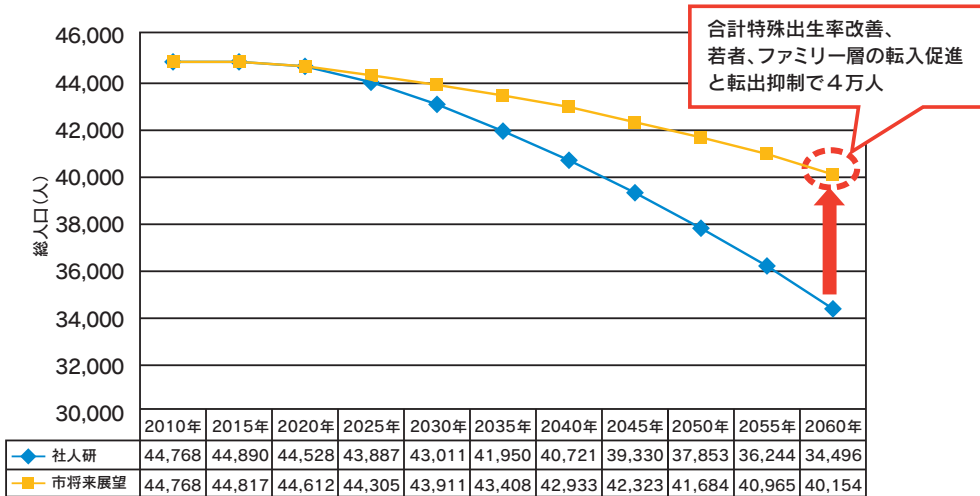
さくら市は、これらのまちづくりの在り方を「安心して暮らせ、地域・ひと・ものを結ぶ、魅力いっぱいのまち」という将来都市像として定めます。

基本構想

将来の人口展望

国立社会保障・人口問題研究所が発表した人口推計によると、近い将来、全国の大多数の都市で大幅な人口の減少が生じると予測されています。市制施行以来、人口増加基調にあった本市も例外ではなく、人口減少局面に進むと見込まれています。

2040年 42,933人 (国(社人研)推計値より+2,212人)
2060年 40,154人 (国(社人研)推計値より+5,658人)

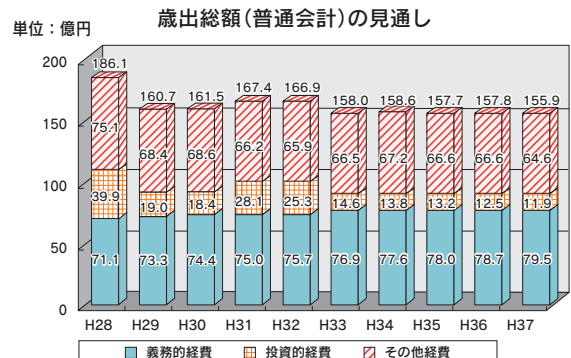
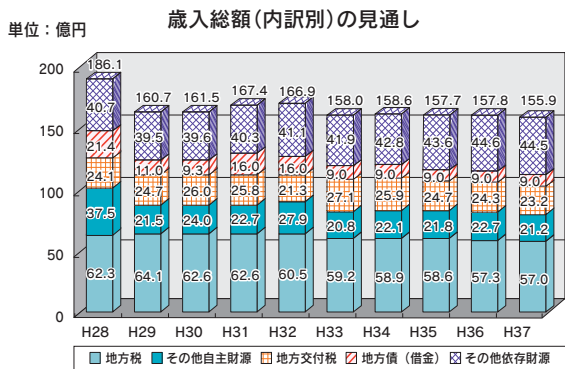


※ このグラフにおける「社人研」推計は、国立社会保障人口問題研究所が示した人口推計の考え方に基づいて推計を行ったもので、小数点以下の処理の関係で実際の国立社会保障人口問題研究所の推計値とは異なります。

財政の見通し

さくら市の普通会計の歳出は、平成22年度以降160億円程度で推移してきました。今後の歳入歳出は、平成28年度は大型事業が重なるため186億円超となるものの、平成29年度から平成32年度までは160億円台で推移し、平成33年度以降は160億円を下回っていく見込みです。

合併の特例措置により有利な条件で財政を運営してきたさくら市ですが、その合併特例が無くなることに加え、少子高齢化の進展による影響が想定されているため、これまでの10年間に比べ、厳しい財政状況となることを見込まれています。



基本計画

基本計画期間の重点分野

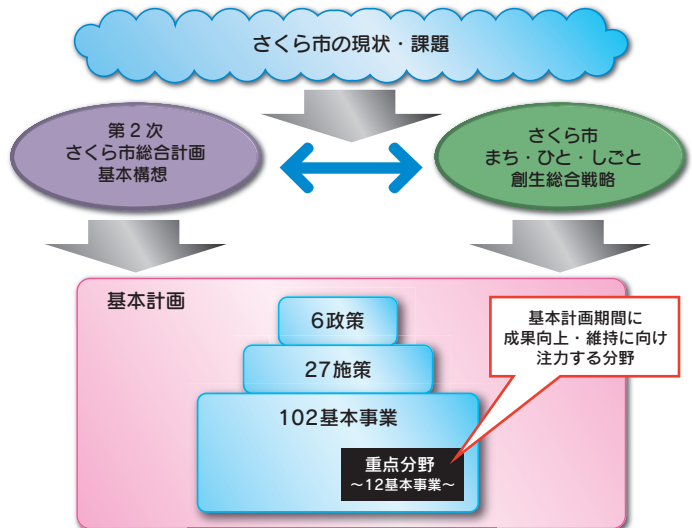
総合計画は各行政分野を総合的に網羅した計画であるため、非常に広範囲な記述となり、何を重点的に取り組みたいのかが伝わりにくい側面があります。また、ヒト、モノ、カネ等の経営資源には限りがあるため、効果的にまちづくりを進めるには、さくら市にとって重要な分野に経営資源を集中することが必要です。

そこで、基本計画期間(2016年～2020年)における『重点分野』を設定し、優先的に取り組みます。

『重点分野』は各施策を構成する102の基本事業のなかから、さくら市の現状、時代潮流、市民意識やニーズ、今後の人口減少社会に向けたさくら市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「さくら市総合戦略」という。)などを踏まえ、特に重要な12の基本事業を設定しています。

基本計画は政策、施策、基本事業の3つの階層で構成されますが、政策階層や施策階層で重点分野を設定すると要素として大きすぎるため、基本事業階層で重点分野を設定しています。

また、基本事業階層で重点分野を設定することで、総合計画とさくら市総合戦略の一体的な推進や施策横断的な対応を可能としています。



さくら市まち・ひと・しごと 創生総合戦略 4基本目標

地域産業を活性化させ、安定したしごとを創出する

定住人口・交流人口を増やす

結婚・出産の希望をかなえ、子育てと教育の支援を充実させる

地域での確かな暮らしを確保する

12重点分野 (基本事業階層)



基本計画

施策の体系

基本構想の実現に向け、施策の体系を下記のとおり整理しました。

政策Ⅰ 市民とともに築く自立した行財政（行政経営・自治分野 4施策）

施策Ⅰ－１ 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進

施策のめざす姿 市民がまちづくりに参画し、行政と市民がそれぞれ適切に役割を分担し協力し合っています。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	市民と行政の協働によるまちづくりがされていると思う市民の割合 (%)	41.6 %	44.0 %
2	協働により市政が運営されていると感じる職員の割合 (%)	54.9 %	57.0 %



基本事業
① 市民と行政の協働の体制づくり
② 市民活動の活性化
③ 地域コミュニティ活動の活性化

施策Ⅰ－２ 適正な事務執行とサービス提供

施策のめざす姿 適正に行政事務（事務処理）が執行され、適切に行政サービスが提供されています。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	行政事務の執行において法令違反等があった件数 (件)	0 件	0 件



基本事業
① 快適な窓口サービスの推進
② 開かれた議会運営
③ 適正な財務会計の執行
④ 適正な選挙事務の執行
⑤ 適正な会計処理
⑥ 外国人向けサービスの提供
⑦ 適正な個人情報の管理
⑧ 適正な電算システムの管理



施策Ⅰ－３ 効果的・効率的な行政経営の推進

施策のめざす姿 質の高い行政サービスが効果的・効率的に市民に提供されています。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	効果的・効率的なまちづくり（行政経営）が進められていると思う市民の割合 (%)	44.8 %	50.0 %
2	効果的・効率的なまちづくり（行政経営）が進められていると思う職員の割合 (%)	50.4 %	60.0 %



基本事業
① 成果を重視した行政経営の確立
② 職員能力と組織能力の向上
③ 職員定数の適正管理
④ 広域行政・交流の取組みの促進
⑤ 広報・広聴の充実

施策Ⅰ－４ 透明で健全な財政の確立

施策のめざす姿 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断指標の適切な管理により、健全な財政運営が行われています。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	実質赤字比率 (%)	赤字額なし	赤字額なし
2	連結実質赤字比率 (%)	赤字額なし	赤字額なし
3	実質公債費比率 (%)	9.4 %	9.4 %
4	将来負担比率 (%)	将来負担比率なし	将来負担比率なし



基本事業
① 自主財源の確保
② 公共施設の適正化
③ 計画的・効率的な財政運営

基本計画

政策Ⅱ 福祉の充実と安心の社会保障（福祉・健康・子育て分野 6 施策）

施策Ⅱ－1 助け合いと支え合いの地域福祉

施策のめざす姿 市民が相互に、助け合い、支え合いながら地域福祉活動が展開されています。

成果指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
1 地域で支え合っていると思う市民の割合 (%)	64.3 %	66.8 %



基本事業
① 地域福祉の理解促進
② 地域福祉活動の推進
③ 見守り活動の推進

施策Ⅱ－2 生きがいをもたらす高齢者福祉

施策のめざす姿 高齢者が自立して、地域でいきいきと健康的に生活をしています。

成果指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
1 生きがいを持っている高齢者の割合 (%)	82.9 %	85.0 %



基本事業
① 高齢者の社会参加の推進 重点
② 介護予防対策の充実
③ 介護サービス体制の整備
④ 在宅福祉サービスの充実

施策Ⅱ－3 自立・支援・社会参加の障がい者(児)福祉

施策のめざす姿 障がい者(児)が地域で安心して暮らしています。

成果指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
1 在宅で生活している障がい者(児)の割合 (%)	97.3 %	98.0 %



基本事業
① 障がい者(児)支援体制の充実
② 自立した生活の支援
③ 地域生活の支援
④ 社会参加の促進

施策Ⅱ－4 健康・予防・医療体制の充実と健康づくり

施策のめざす姿 市民が、健康な心身で生活を送っています。

成果指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
1 自身が健康だと思う市民の割合 (%)	76.1 %	80.0 %



基本事業
① 自主的な健康づくりの推進
② 保健予防対策の充実
③ 地域医療体制の整備

施策Ⅱ－5 安心で安全な子育て環境づくり

施策のめざす姿 子育て支援サービスが充実し、市民が安心して子育てしています。

成果指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
1 子育て支援のサービスや環境が充実していると思う保護者の割合 (%)	80.1 %	83.0 %
2 出生数 (人) (出典：栃木県保健統計年報)	416 人	416 人
3 子育てが楽しいと思う保護者の割合 (%)	93.6 %	94.0 %



基本事業
① 未就学児・児童の教育・保育サービスの充実 重点
② 子どもの遊び場の確保
③ 子育てのための経済支援 重点
④ 子育て不安の解消

施策Ⅱ－6 生活を支援する社会保障と社会福祉

施策のめざす姿 社会保障を適正に受給することで、市民が安心して生活しています。

成果指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
1 社会福祉(社会保障)の充実に関する市民満足度 (%)	82.1 %	85.1 %



基本事業
① 医療保険制度の健全運営
② 介護保険制度の健全運営
③ 生活困窮者の支援
④ 安全で快適な公営住宅の供給

基本計画

政策Ⅲ 文化薫る心豊かな人材の育成（学習・文化・教育・人権分野 5施策）

施策Ⅲ－1 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進

施策のめざす姿 生涯にわたる学びの機会とその成果を生かす場があり、豊かな心を持ち生きがいに満ちた市民が増加しています。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	自主的な生涯学習活動に参加している市民の割合 (%)	30.4 %	32.0 %



基本事業
① 学ぶ機会の充実
② 青少年健全育成体制の強化
③ 家庭教育支援の充実

施策Ⅲ－2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承

施策のめざす姿 市民が自発的に芸術・文化・歴史に関する事業や保存継承、利活用事業に参加しています。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	芸術・文化・歴史に関する事業に参加した市民の割合 (%)	43.7 %	43.7 %



基本事業
① 芸術文化活動の推進
② 歴史的文化的資源の保存・継承・利活用
③ 博物館の整備・充実

施策Ⅲ－3 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育

施策のめざす姿 確かな学力、健やかな身体、豊かな心などの生きる力を身につけながら、学校で楽しく学んでいます。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	学校に行くのが楽しいと思っている児童の割合 (%)	86.7 %	90.0 %
2	学校に行くのが楽しいと思っている生徒の割合 (%)	91.2 %	95.0 %



基本事業
① 確かな学力の育成 重点
② 豊かな心と健やかな体の育成
③ 安全・安心な教育環境の実現

施策Ⅲ－4 充実した生涯スポーツ社会の実現

施策のめざす姿 市民が定期的にスポーツやレクリエーションをして楽しんでいます。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	週1回以上スポーツ、レクリエーションをしている市民の割合 (%)	30.2 %	33.0 %



基本事業
① 生涯スポーツ活動の充実
② スポーツ施設の整備
③ スポーツ団体・指導者の育成

施策Ⅲ－5 市民一人ひとりの人権尊重

施策のめざす姿 市民一人ひとりの人権が尊重されています。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	人権が侵害された市民のうち、相談できた市民の割合 (%)	39.6 %	50.0 %



基本事業
① 人権尊重意識の啓発
② 男女共同参画社会の推進
③ 子どもの人権尊重
④ 配偶者間の人権尊重
⑤ 高齢者の人権尊重



基本計画

政策Ⅳ 暮らしを支える強固な経済基盤（雇用・産業・観光分野 3施策）

施策Ⅳ－1 時代のニーズに合致した農林水産業の確立

施策のめざす姿 安全で新鮮な質の高い農林水産物が生産され、農林水産業の経営が安定しています。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	農林水産業総生産額 (百万円) (出典：栃木県市町村民経済計算)	6,646 百万円 (H24)	6,646 百万円



基本事業	
① 付加価値の高い農林水産業の確立	重点
② 持続可能な農林水産業構造の構築	
③ 地産地消等による農林水産業への理解推進	

施策Ⅳ－2 安定と発展の商工業基盤の充実と強化

施策のめざす姿 市内の商工業者が高い経営力を備え、安定した経営基盤を確立しています。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	商業生産額 (百万円) (出典：栃木県市町村民経済計算)	10,900 百万円 (H24)	12,000 百万円
2	工業生産額 (百万円) (出典：栃木県市町村民経済計算)	53,002 百万円 (H24)	57,600 百万円



基本事業	
① 商業の活性化	
② 工業の振興	重点
③ 中小企業の経営基盤の強化支援	
④ まちなかのにぎわい創出	重点
⑤ 雇用環境の充実	重点

施策Ⅳ－3 地域資源を活かした観光の振興

施策のめざす姿 さくら市の魅力や観光資源が市内外で認知され、滞在人口、交流人口が増加しています。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	観光客入込数 (人)	700,428 人	1,000,000 人
2	観光客宿泊数 (人)	60,743 人	80,000 人



基本事業	
① 観光PRの充実	重点
② 観光資源の充実と創出	
③ 観光施設の維持管理	



基本計画

政策Ⅴ 機能的で住みやすい安全な都市機能（都市基盤・安心安全分野 6 施策）

施策Ⅴ－１ 安全で快適な交通環境の充実

施策のめざす姿 市民が公共交通機関や道路施設を利用し、安全で快適に移動しています。

成果指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
1 公共交通（鉄道・バス・乗合タクシー）に満足している市民割合（％）	60.4％	70.0％
2 道路整備に満足している市民の割合（％）	72.1％	75.0％



基本事業	
① 公共交通機関の確保	重点
② 安全で快適な道路の整備	
③ 道路・橋梁の長寿命化と維持管理	

施策Ⅴ－２ 魅力ある良好な市域の形成

施策のめざす姿 魅力ある良好な住生活環境が形成されています。

成果指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
1 良好な住生活環境のための計画的な土地利用ができていると感じる市民の割合（％）	49.7％	55.0％



基本事業	
① 良好な街並み・景観の形成	
② 定住・転入の促進	重点
③ みどりの憩い空間の形成	

施策Ⅴ－３ 暮らしの安全・安心な社会の構築

施策のめざす姿 交通安全対策が推進され、市民の交通安全意識が向上しています。
防犯意識が向上し、犯罪の発生しにくい環境が整備されています。

成果指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
1 交通事故発生件数（件）	112 件	85 件
2 全刑法犯数（件）	348 件	230 件



基本事業	
① 交通安全意識の向上	
② 交通安全対策の推進	
③ 防犯意識の向上	
④ 防犯対策の推進	
⑤ 消費者行政の充実	

施策Ⅴ－４ いのちとくらしを守る災害に強いまちづくり

施策のめざす姿 市民が防災意識を高め、日頃から災害に対する準備を進めるとともに、災害に強いまちづくりを進めています。

成果指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
1 災害被害戸数（戸）	36 戸	36 戸



基本事業	
① 市民の防災意識の向上	
② 地域防災力の強化	重点
③ 行政による防災体制の整備	
④ 雨水・浸水対策の整備	

施策Ⅴ－５ 安全でおいしい水道水の安全供給

施策のめざす姿 安全な水道水が安定供給されています。

成果指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
1 水道普及率（％）	90.3％	94.0％
2 水道に対する満足度（％）	90.6％	95.0％



基本事業	
① 水道施設の維持管理・更新	
② 水道未普及地域の解消	
③ 水道事業の安定経営	

施策Ⅴ－６ 良好な水資源を保全する下水道の整備

施策のめざす姿 下水道が整備され、利用が促進されることで衛生的で快適な生活環境となっています。

成果指標	現状値 (H26)	目標値 (H32)
1 水洗化率（氏家処理区）（％）	83.4％	86.8％
2 水洗化率（喜連川処理区）（％）	64.7％	70.6％



基本事業	
① 下水道の整備	
② 施設の維持管理	
③ 下水道事業の安定経営	

基本計画

政策Ⅵ 次代に引き継ぐ豊かな自然と環境(自然・環境分野 3施策)

施策Ⅵ-1 次世代に継承する自然環境の保全

施策のめざす姿 市民が自然と共生し、その自然が次世代に継承されています。
市民が地球温暖化防止や、省エネルギーに取り組んでいます。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	市が自然環境に恵まれていると思う市民の割合 (%)	90.1 %	95.0 %
2	地球温暖化対策等に効果的な行動の平均実践項目数 (個)	4.00 個	5.00 個



基本事業
① 環境保全活動の推進
② CO2抑制と再生可能エネルギーの推進
③ 緑地の保全・育成

施策Ⅵ-2 5Rによる循環型社会の実現

施策のめざす姿 廃棄物の減量化がなされ、適正に処理されています。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	家庭系・事業系ごみの排出量 (t)	10,653 t	10,440 t



基本事業
① 廃棄物抑制の推進
② 不法投棄等の不適正処理の抑制
③ リサイクル活動の推進
④ ごみの収集・処理体制の適正化
⑤ リユース(再使用)活動の促進

施策Ⅵ-3 ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上

施策のめざす姿 市民が清潔で衛生的な生活環境で暮らしています。

成果指標		現状値 (H26)	目標値 (H32)
1	清潔で衛生的な生活環境だと思う市民の割合 (%)	81.8 %	85.0 %



基本事業
① 公害防止対策の推進
② 生活排水対策の推進
③ 犬・猫の適正飼養の推進
④ 美化運動の推進





編集発行 さくら市

〒329-1392

栃木県さくら市氏家 2771 総務部企画政策課

TEL : 028-681-1113

FAX : 028-682-0360

Eメール kikaku@city.tochigi-sakura.lg.jp

H P <http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp>